

WIZBOOK LTE

KIC14LTE 取扱説明書

《本書について》

本書に掲載された内容はバージョンによって実際の操作画面と異なる場合があります。

また、製品の仕様やデザインは改良、その他理由により予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

《搭載バッテリーについて》

本製品にはリチウムポリマーバッテリーを使用しています。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。膨張や充電不良を除くバッテリー消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。リチウムポリマーバッテリーを長くご使用になるには過充電と過放電にご注意ください。過充電・過放電共にバッテリーを非常に消耗しますので、バッテリー残量に関しては20%～80%程度の間をキープしてご使用いただくことをお勧めします。また、一度過放電状態になると、再度ご使用いただける状態になるまで充電に時間がかかる場合があります。

※本製品の充電には、必ず付属の充電用ACアダプタをご使用ください。

目次

● 安全上の注意/ご使用上の注意/その他の注意		P2～P4
● 製品の概要/詳細説明		P5～P7
● 本体への充電/電源の入れ方		P8
● 初回起動時		P9
● 使い方		
・基本設定が終わったら		P10～P12
・スタートメニューとスタート画面		P13
・タッチパッドの操作/キーボードの操作		P14～P16
・アカウントの操作/よく使うアプリやフォルダ/シャットダウンと再起動		P17～P18
・Windowsの設定をする		P19
・無線LAN (Wi-Fi) の設定		P20～P22
・microSIMカードの挿入と設定方法		P23～P27
・Windowsの初期化		P28～P29
・FAQ (よくある質問)		P30～P36
● 仕様		P37

付属品の確認

● PC本体		1台
● 充電用ACアダプタ		1個
● 取扱説明書(本書)		1冊
● 保証書		1枚
● WPS Officeライセンスカード		1枚

ご使用前に「安全上の注意」「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⊘ 記号は禁止「してはいけないこと」を示しています。

ⓘ 記号は指示「しなければいけないこと」を示しています。

ⓘ 記号は留意点「覚えておくべきこと」を示しています

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

◆安全上の注意



本製品はリチウムポリマーバッテリーを使用しております。リチウムポリマーバッテリーの故障、発熱、発火、破裂の原因となりますので、火気のそば・高温下での使用や、水中への投入、電子レンジやオーブンでの加熱などはおこなわないでください。



充電時は付属の充電用ACアダプタ以外は使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。



本体を分解、改造しないでください。火災や感電の原因となります。



歩行中、自動車や自転車の運転中に操作はしないでください。事故の原因となります。



本製品を医療機器に近づけたり、ペースメーカーをご使用の方の近くで使用しないでください。医療機器に悪影響が出る場合があります。



本体や付属品に強い衝撃を与えたり、加熱したり、水をかけたりしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

警告



使用中は機器が熱を持ちます。電源を入れたまま、素手で同じ場所を長時間持ち続けたり、膝の上で長時間使用しないでください。低温やけどの原因となる可能性があります。



本体の動作に異常が見られる場合は使用を中断しACアダプタを抜いた後、ご購入店舗または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。（煙が出る、においがする、本体が異常に熱くなる、触れるとビリビリと電気を感じる、本体が変形・破損したなど）



航空機内の離着陸時は電源をお切りください。航空機の機器に悪影響が出る場合があります。

-  本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。日本国内の家庭用電源以外で使用しないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

◆ご使用上の注意

-  ホコリの多い場所や湿度の高い場所に置かないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。
-  直射日光のあたる場所や暖房器具の前など、高温になる場所で保管、使用をしないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
-  本体に強い衝撃や振動を与えないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
-  静電気を帯びた場所や強い磁気を帯びた場所には置かないでください。故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
-  端子部分にホコリや油を付着させないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。

ACアダプタを取り扱う際は、次の点にご注意ください。

-  ● コンセント及び本体コネクタから抜くときは、コードを引っ張らない。
- 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない。
- 屋外で使用しない。
- 布などでくるまない。

故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。



注意

-  不安定な場所や地震などによって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。落下、転倒により故障、発熱、発火、破裂、けがの原因となります。
-  液晶ディスプレイを強く押したり、先のとがったもので傷を付けないでください。故障、発熱、発火、破裂、感電の原因となります。
-  本製品を設置したり移動する場合は、指などを挟んだり、落下させたりしないよう十分注意してください。故障やけがの原因となります。
-  タッチパッド部分には必ず指でタッチしてください。先のとがったものや硬いもので操作をおこなうと、本体破損の原因となります。
-  充電が終わったら必ず、充電用ACアダプタケーブルを抜いてください。過充電によるバッテリーの消耗や、接続中のコードに引っかかるなどの負荷により故障、発熱、発火、破裂の原因となります。
-  長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。絶縁劣化などにより故障、発熱、発火、破裂の原因となります。

◆その他の注意



本製品にはリチウムポリマーバッテリーが含まれています。廃棄する場合は絶対に「一般ゴミ」として捨てないでください。廃棄する場合は各地方自治体の条例に従って破棄してください。



熱や水、落下など衝撃による本体の破損やキズは保証対象外となります。



本製品に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは消耗品となります。リチウムポリマーバッテリーの特性上、使用環境により消耗し充電のパフォーマンスが低下します。バッテリーの消耗に関しましては保証期間に関わらず保証対象外となりますのでご了承ください。



内蔵リチウムポリマーバッテリーの交換はお客様ではおこなえません。ご購入の販売店または弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。有償の修理・交換対応となります。（その際にデータ、インストール済アプリなどは全て初期化されますので、必ずバックアップを取ってください。）

本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーの過放電を防ぐため1ヶ月を目安に定期的に充電をお願いします。バッテリー性能の劣化を防ぐことができます。

< 恵安株式会社 サポートセンター >

メール: support@keian.co.jp FAX: 03-3980-5327

無線通信機能(モジュールを含む)を持つパーソナルコンピュータの比吸収率(BodySAR)について

この機種は、BodySARの対象となる無線通信機(モジュールを含む)*1を搭載しており、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

対象モジュールを搭載しているパーソナルコンピュータは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*2ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)が支持するガイドラインと同等のものとなっており、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率(約50倍の安全率)となっています。

国の法律および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、対象モジュールを搭載しているパーソナルコンピュータに対する局所SARの許容値は2.0W/kg(手首から先を除く手足は4W/Kg)です。

Body SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省 電波利用ホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/>

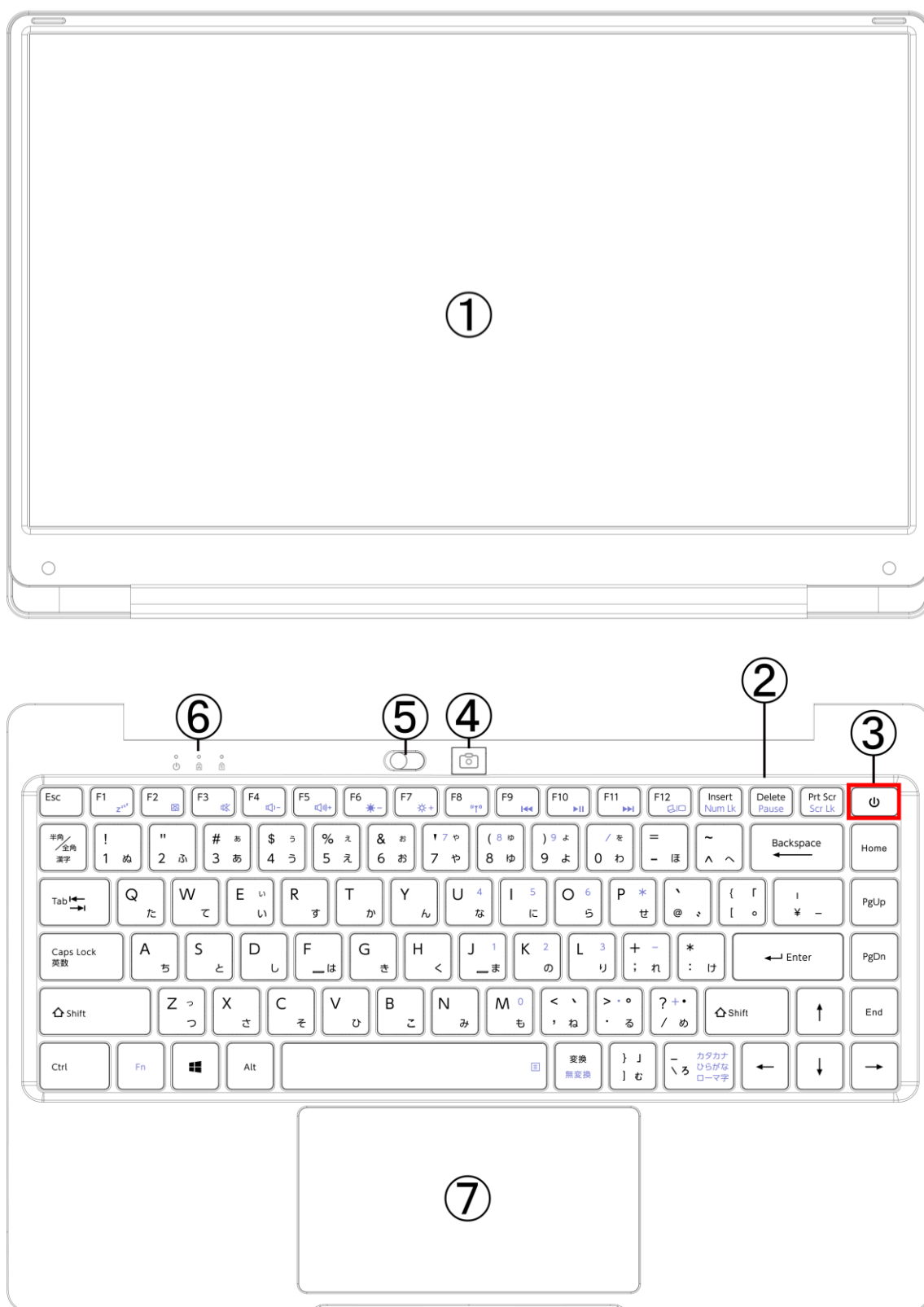
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/pr/>

注*1 2014年4月1日現在、対象となる無線通信機(モジュールを含む)は、携帯電話、衛星携帯電話およびWiMAX。

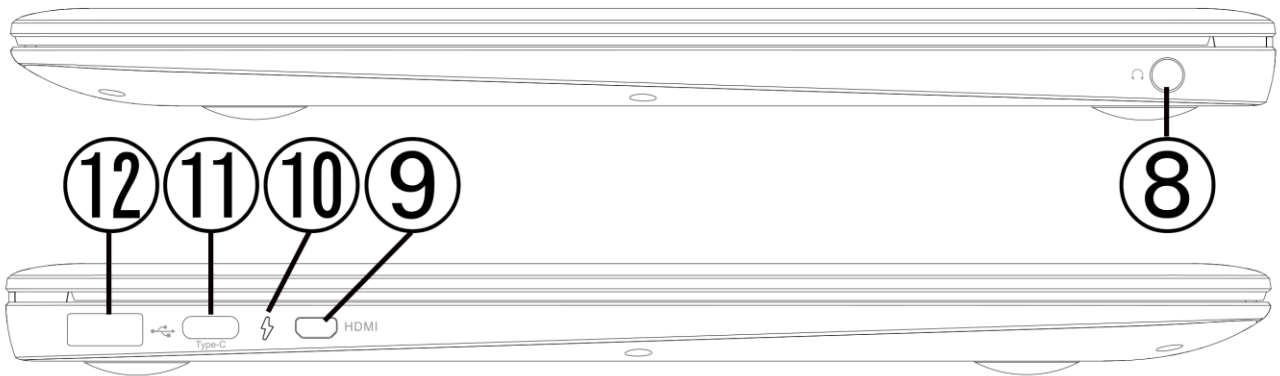
注*2 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

◆製品の概要 ※画像はイメージです。

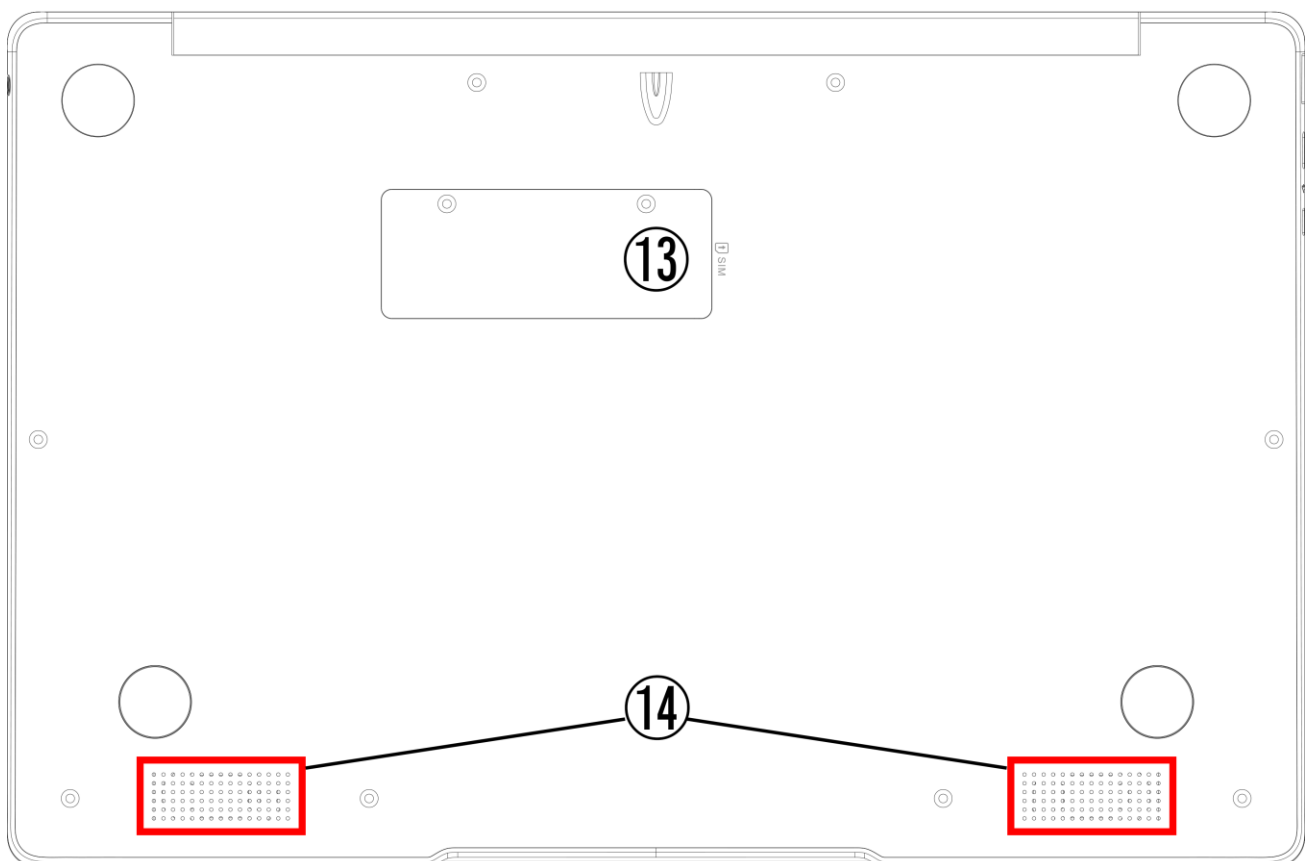
本体正面



本体サイド面



本体裏面



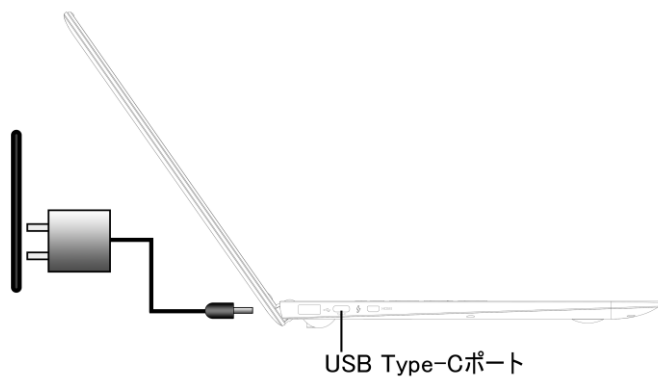
◆ 詳細説明

①	ディスプレイパネル	画面表示に使用します。
②	キーボード	文字入力の際に使用します。
③	電源ボタン	本体の電源を入れるために使用します。
④	カメラ	200万画素のインカメラです。⑤カメラスイッチでカメラを出すことが可能です。収納するには、出ている状態で上から押し込みます。
⑤	カメラスイッチ	左にスライドすると④の収納されたカメラが現れます。
⑥	インジケーター	電源・CapsLock・NumLockの状況を表示します。
⑦	タッチパッド	カーソル操作の際に使用します。
⑧	3.5mmイヤホンジャック	イヤホンを差すとスピーカーからイヤホンに音声出力が切り替わります。
⑨	Mini HDMI端子	映像を外部に出力することができます。別途、Mini HDMIケーブルをお求めください。
⑩	電源入力インジケーター	ACアダプタ接続状態で充電中のときに点滅します。フル充電状態の場合は点灯します。
⑪	USB Type-Cポート	USB Type-Cコネクタを接続できます。充電の際は付属の充電用アダプタをこのポートに接続してください。
⑫	USB3.0ポート	マウス、USBメモリなどの外部機器を接続します。端子の色は青です。
⑬	microSIMカードスロット	2つのネジを取り外し、カバーを開けることでスロットが現れます。別途ご用意いただいたmicroSIMカードを挿入できます。
⑭	スピーカー	音声を出力します。

◆ 本体への充電

- ① 本体のUSB Type-Cポートに充電用ACアダプタのコネクタを差し込んでください。
- ② 充電用ACアダプタをコンセントに接続してください。

※初回使用時は事前にフル充電をおこなってください。
充電の残量にもよりますが、最大で8時間程かかる場合があります。



◆ 電源の入れ方

ディスプレイパネルを開き、本体キーの「電源ボタン」を押してください。



◆初回起動時

初めて本製品をご使用の際はWindowsの基本設定をおこなう必要があります。

OSのバージョンや、使用される言語などによって若干内容が異なる場合があります。その際は画面上に表示される文章に従って入力をおこなってください。

● 基本設定

- ① 自動で開始する音声ガイダンスの説明が終わると基本設定が表示されます。
- (ア) お住まいの地域設定が表示されますので、[日本]を選択し右下の[はい]をクリックしてください。
 - (イ) キーボードレイアウトの選択は、デフォルトのまま、右下の[はい]をクリックしてください。
 - (ウ) [2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？]の画面が表示されます。ご希望に合わせて設定してください。他の言語のキーボードレイアウトが必要ない場合は[スキップ]をクリックしてください。

- ② ネットワークの設定画面が表示されます。
- (ア) 無線LAN(Wi-Fi)の環境がある場合は、お持ちのルーターの取扱説明書をご確認のうえ、設定してください。無線LAN(Wi-Fi)の設定は本書の「無線LAN(Wi-Fi)の設定」をご確認ください。初期設定完了後でも設定が可能ですので、ここでは左下の[今はスキップ]をクリックしてください。

- ③ アカウント設定画面が表示されます。
- (ア) Windows10使用許諾契約が表示されますので、内容をご確認のうえ、[同意する]をクリックしてください。
 - (イ) アカウント設定をおこないます。ご希望のユーザー名、パスワード、セキュリティの質問を設定してください。

※今回は、ネットワーク設定時に[今はスキップ]を選択しているため、オフラインアカウント設定画面が自動的に表示されますが、ネットワーク設定画面で無線LAN(Wi-Fi)設定をおこなっている場合、Microsoftアカウントでのサインイン設定が可能です。Microsoftアカウントを使用してサインイン設定をおこなう場合は、画面に従って設定してください。Microsoftアカウント使用しない、オフラインアカウント(または、ローカルアカウント)でのサインインをご希望の場合は、左下の[オフラインアカウント]を選択することで設定が可能です。Microsoftアカウントでのサインインは、ここで設定しない場合でも後から「Windowsの設定」内の「アカウント」から設定可能です。

※設定したパスワードを忘れないよう、管理に十分ご注意ください。パスワードなどを忘れてしまった場合、メーカーを含めた第三者がそれを解除することは出来ません。もし忘れてしまった場合は、本書FAQ「ログイン用のパスワードを忘れてしまった。」をご確認ください。

- ④ サービスの設定画面が表示されます。
- (ア) Cortana(音声アシスタント機能)の権限設定が可能です。[詳細情報]を選択することで、権限について確認ができます。[はい]か[いいえ]をクリックしてください。
 - (イ) [デバイスのプライバシー設定の選択]画面では、各種プライバシー設定が可能です。記載内容をご確認のうえ、適宜設定いただき、[同意]をクリックしてください。

- ⑤ これで初期設定は完了となります。全ての設定が終了するとデスクトップ画面が表示されます。

◆使い方 ・基本設定が終わったら

基本設定完了後デスクトップ画面が現れたら、まず本書「無線LAN (Wi-Fi) の設定」の項目で無線LAN (Wi-Fi) の設定をおこなってください。次にWindowsのアップデートをおこなっていただく必要がありますのでアップデートの前には十分に充電をおこない、ACアダプタを接続した状態でおこなってください。

アップデートの前に、スリープ状態にならないよう、スリープ設定をおこないます。

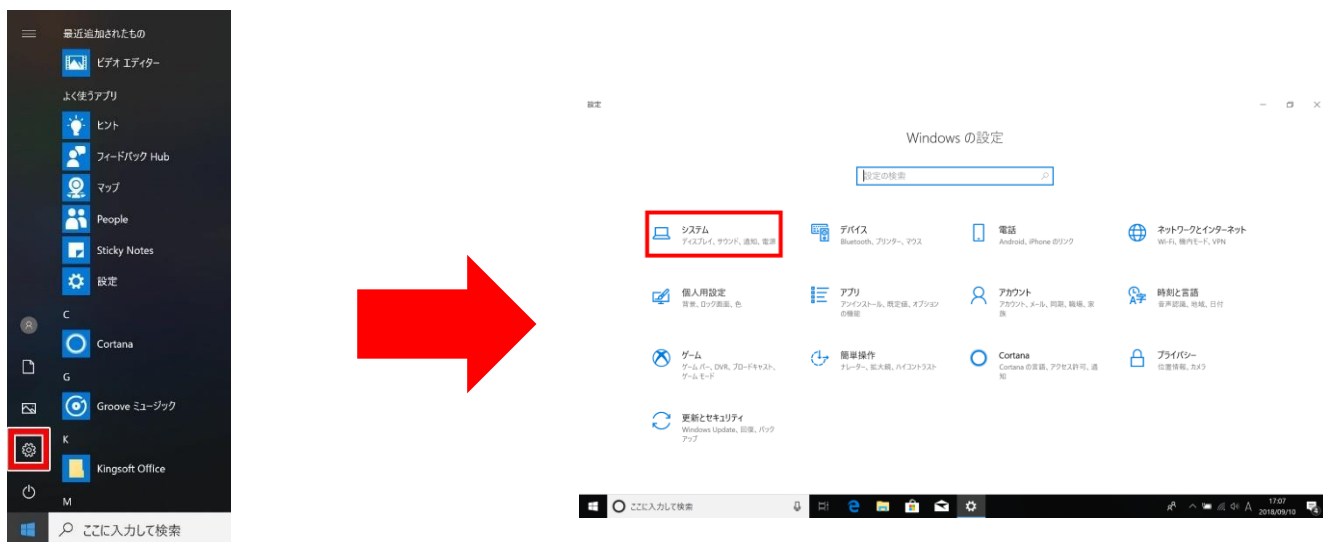
※アップデート中にスリープ状態になると、アップデートが失敗する場合があります。

1. デスクトップ画面左下のスタートボタン(Windowsアイコン)をクリックし、スタートメニューを表示させます。

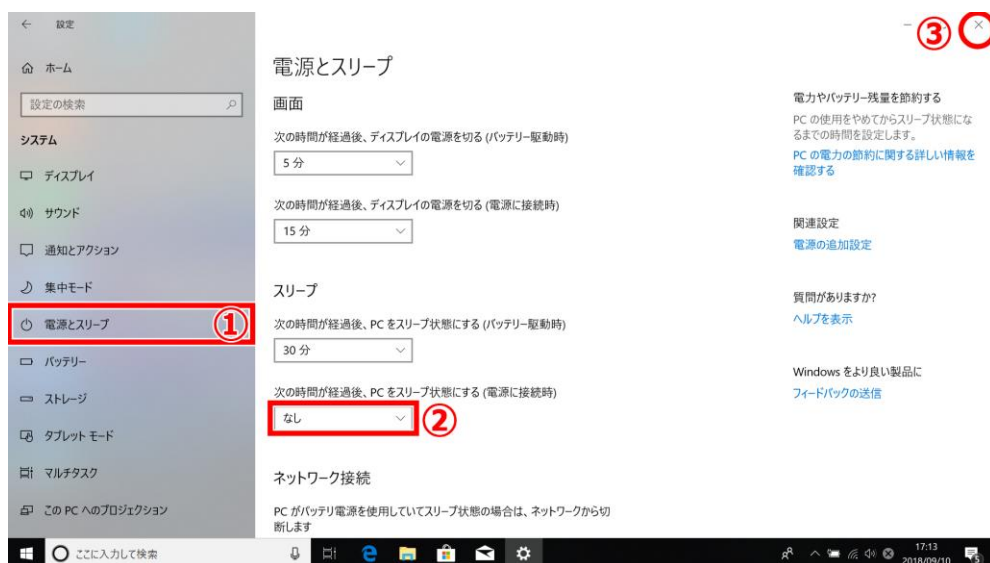


2. スタートメニューの[設定]から

3. [システム]をクリックしてください



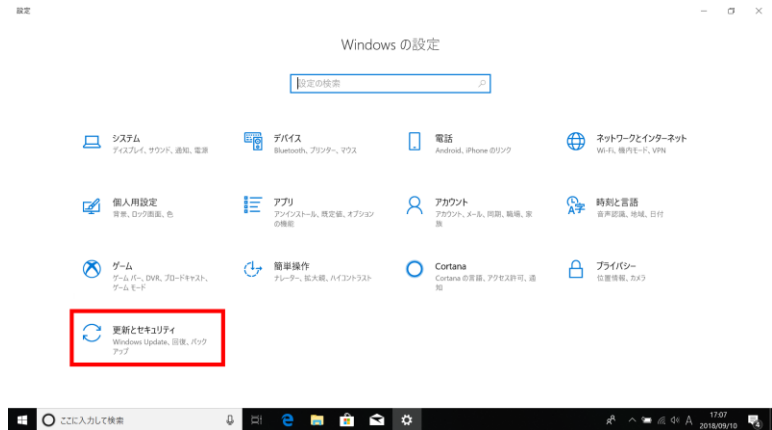
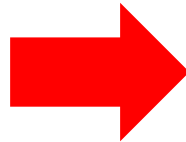
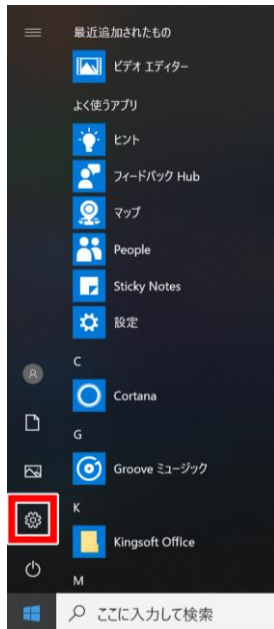
4. [電源とスリープ](下図①)をクリック後、「次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする(電源に接続時)」を[なし]に設定してください(下図②)。これで、スリープ設定完了です。最後に右上の×ボタン(下図③)をクリックしウィンドウを消してください。



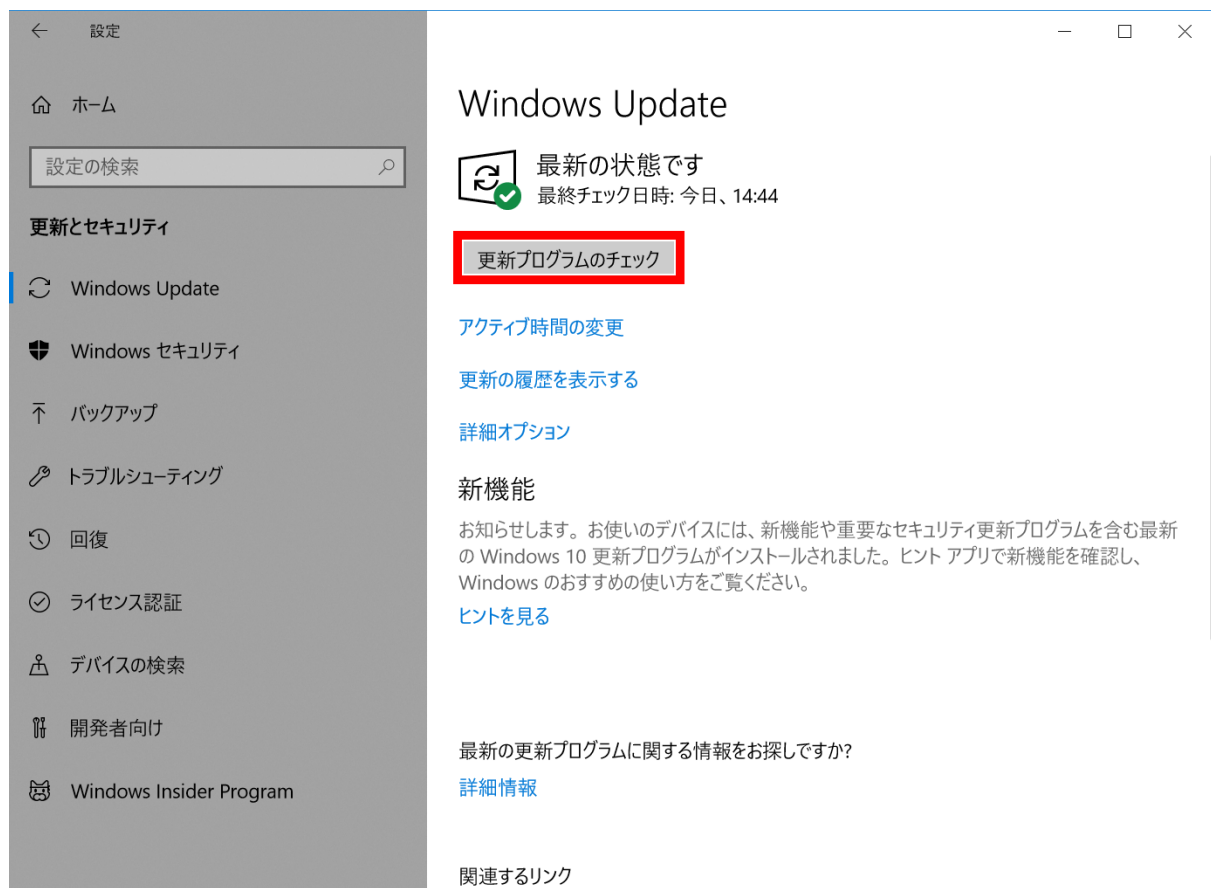
次にアップデートをおこないます。

1. スタートメニューの[設定 ]から

2. [更新とセキュリティ]をクリックしてください



3. [更新プログラムのチェック]をクリックしてください。



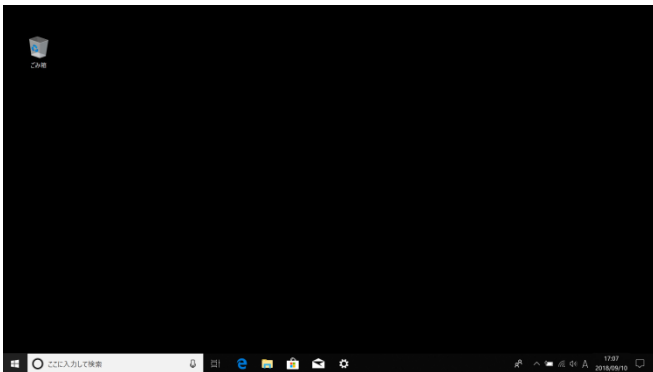
4. アップデートが開始されますので完了までしばらくお待ちください。

途中で再起動を要求される場合は、指示に従って再起動をおこなってください。再起動完了後再度同じ手順を繰り返しアップデートの確認をおこなってください。アップデートが完了しましたら、バッテリーの消耗を軽減するため、スリープモードを設定しなおすことをおすすめします。

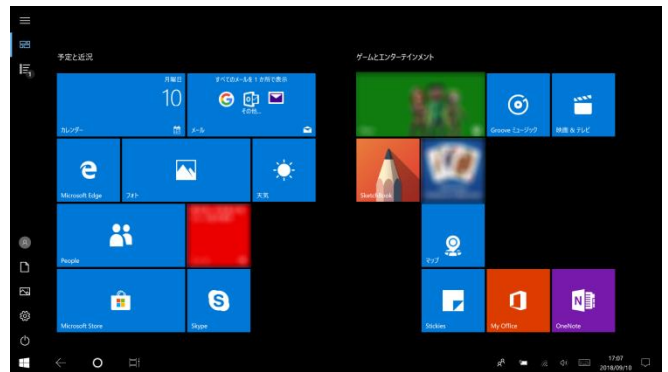
- Windowsのアップデートには、長い時間を要することがあります。アップデート中は再起動や画面が消えるなどの動作をする場合がありますが、アップデートの完了が確認できるまで、充電用ACアダプタを差した状態でお待ちください。
- アップデート中に強制終了をおこなったり、バッテリー切れで電源が落ちてしまった場合、Windowsのデータが破損して起動できなくなるなどの不具合の原因となりますのでご注意ください。
- 大型アップデートでは多くの容量を必要とします。アップデート完了後、Windowsの古いバージョンも、以前の状態に戻せるよう保存されていますが、この古いバージョンも多くの容量を使用しますので、古いバージョンファイルの削除をおこないたい場合は、本書FAQの「ストレージ容量を圧迫するWindows10の旧バージョンファイルの削除方法」をご確認ください。

◆使い方 ・スタートメニューとスタート画面

デスクトップモードでは、デスクトップ画面が表示され、タブレットモードでは、スタート画面が表示されます。



デスクトップモード

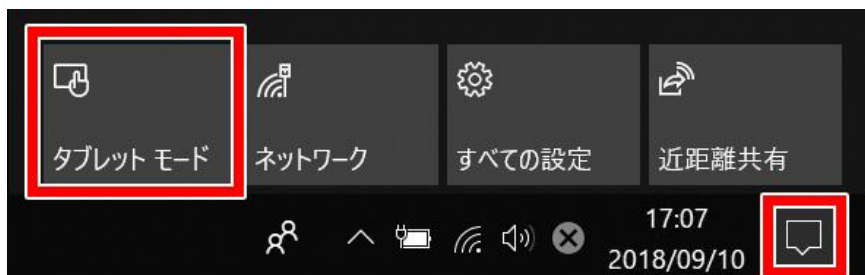


タブレットモード

デスクトップモードは、マウスやタッチパッド、キーボードでの操作に最適化されたモードです。

タブレットモードは、画面へのタッチ操作に最適化されたモードです。

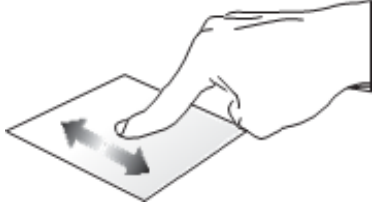
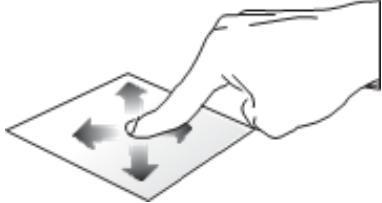
タスクバーの [アクションセンター] をクリックし、[タブレットモード] をクリックするとデスクトップモードとタブレットモードの切り替えができます。タブレットモード時はアイコンが青く点灯します。

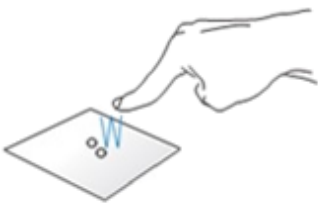


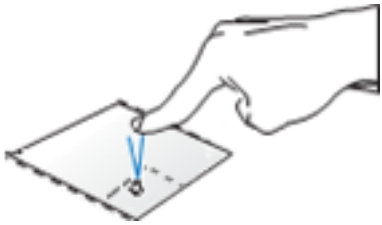
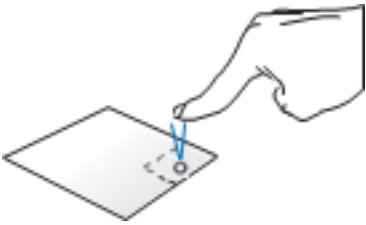
本製品は、タッチ操作に対応しておりませんのでデスクトップモードでの操作を前提にご説明します。

◆使い方 ・タッチパッドの操作

タッチパッド上をクリックまたはタップした後でそのまま指をスライドすると、画面上のポインタを移動することができます。

横にスライド移動	縦にスライド移動	斜めにスライド移動
		

タップ/ダブルタップ	ドラッグ & ドロップ
	
アプリやファイルをタップして選択します。 アプリやファイルをダブルタップして起動します。 それぞれ、クリック、ダブルクリック操作として扱われます。	アイコンやフォルダなどの上にポインタを合わせ、パッド(左下)を押し込んだまま、パッド上で指を動かします。動かした指を離すとドロップされます。

左クリック(または、クリック)	右クリック
	
アイコンを選択する時などに使います。 連続して2回クリックすると、ダブルクリック操作となります。	右クリックメニューを出す時などに使います。

◆使い方 ・キーボードの操作

Fn	を押しながら	F1 	パソコンをスリープ状態にします (キーボードのいずれかを押すと解除されます)
Fn	を押しながら	F2 	タッチパッドを無効または有効にします
Fn	を押しながら	F3 	音声をミュート（消音）します
Fn	を押しながら	F4 	スピーカーの音量を下げます
Fn	を押しながら	F5 	スピーカーの音量を上げます
Fn	を押しながら	F6 	画面の明るさを下げます
Fn	を押しながら	F7 	画面の明るさを上げます
Fn	を押しながら	F8 	機内モードのON/OFFを切り替えます
Fn	を押しながら	F9 	動画プレーヤーで巻き戻しをおこないます
Fn	を押しながら	F10 	動画プレーヤーで再生/一時停止をおこないます
Fn	を押しながら	F11 	動画プレーヤーで早送りをおこないます
Fn	を押しながら	F12 	画面の表示を本機のモニターか外部モニターへ出力するかを切り替えます。
Fn	を押しながら	Insert Num Lk	NumLockを有効または無効にします
Fn	を押しながら	Prt Scr Scr Lk	スクロールロックの切り替えを行います 表計算ソフトなどでキーでスクロール の操作をできるようにします
Fn	を押しながら	Delete Pause	一時停止キーです。MS-DOSモードでは次に キーが押されるまで処理を一時停止します

Num Lk(NumLock)時のキーボード操作に関して



「Fn」と「Num Lk」キーを同時に押すことで、NumLockを有効にすることができます。NumLockが有効になっているとき、以下のキーで数字、記号の入力をおこなうことができます。

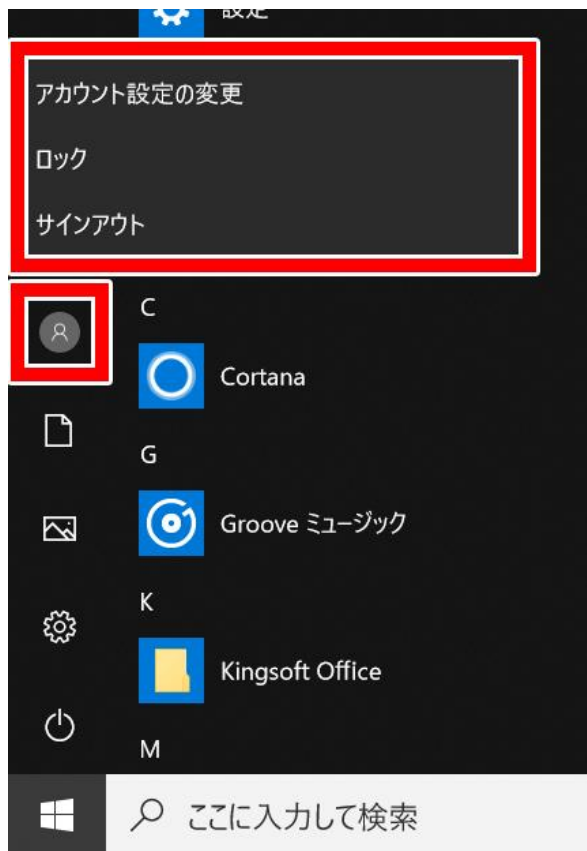


NumLock有効、無効はキーボード上のインジケータランプで確認することができます。



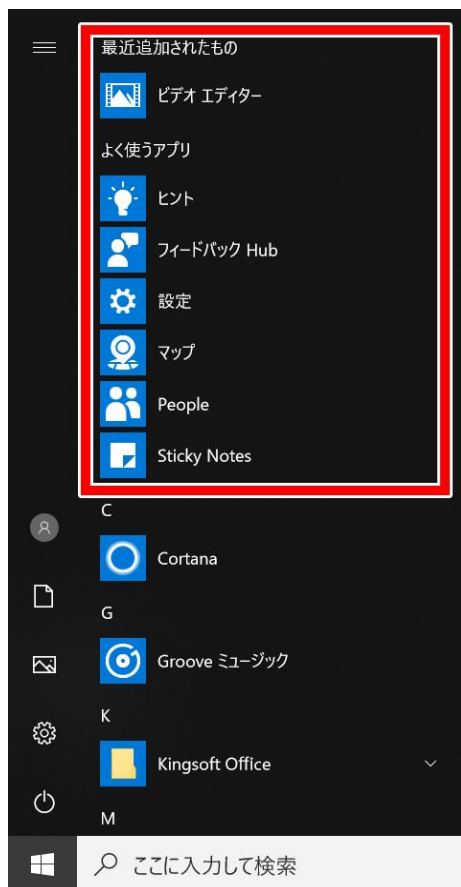
◆使い方 ・アカウントの操作

[アカウント] をクリックすると、アカウントの設定やログアウト、アカウントの切り替えなどがおこなえます。



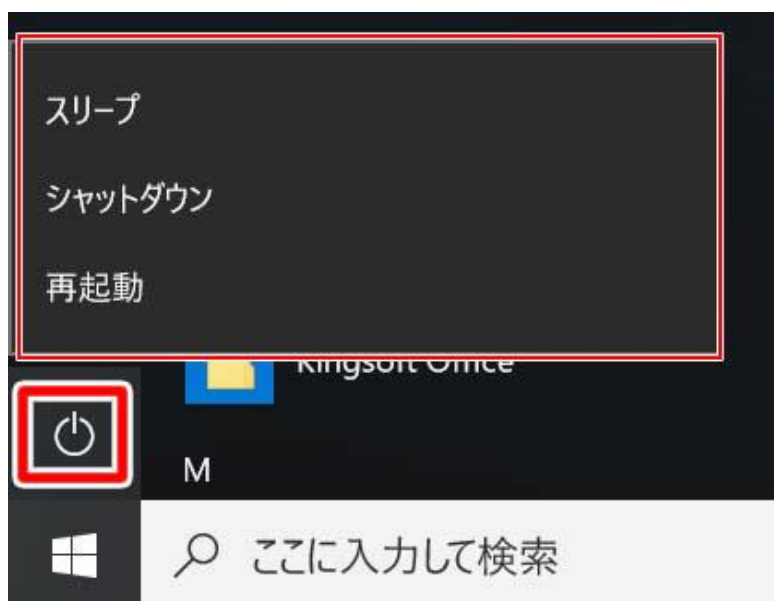
◆使い方 ・よく使うアプリやフォルダ

スタートメニューに、よく使うアプリやおすすめが自動で表示されます。



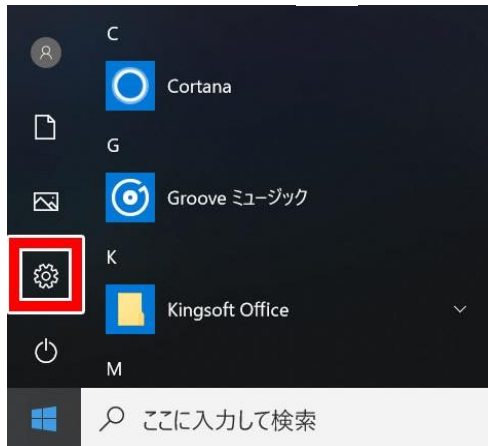
◆使い方 ・シャットダウンと再起動

[電源 ] をクリックしてシャットダウンや再起動ができます。

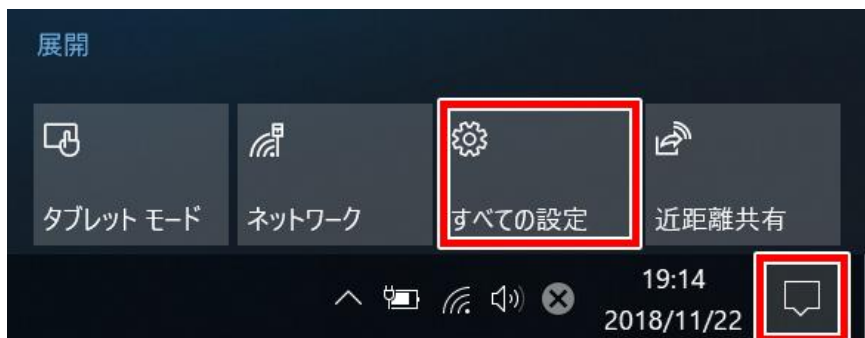


◆使い方 ・Windowsの設定をする

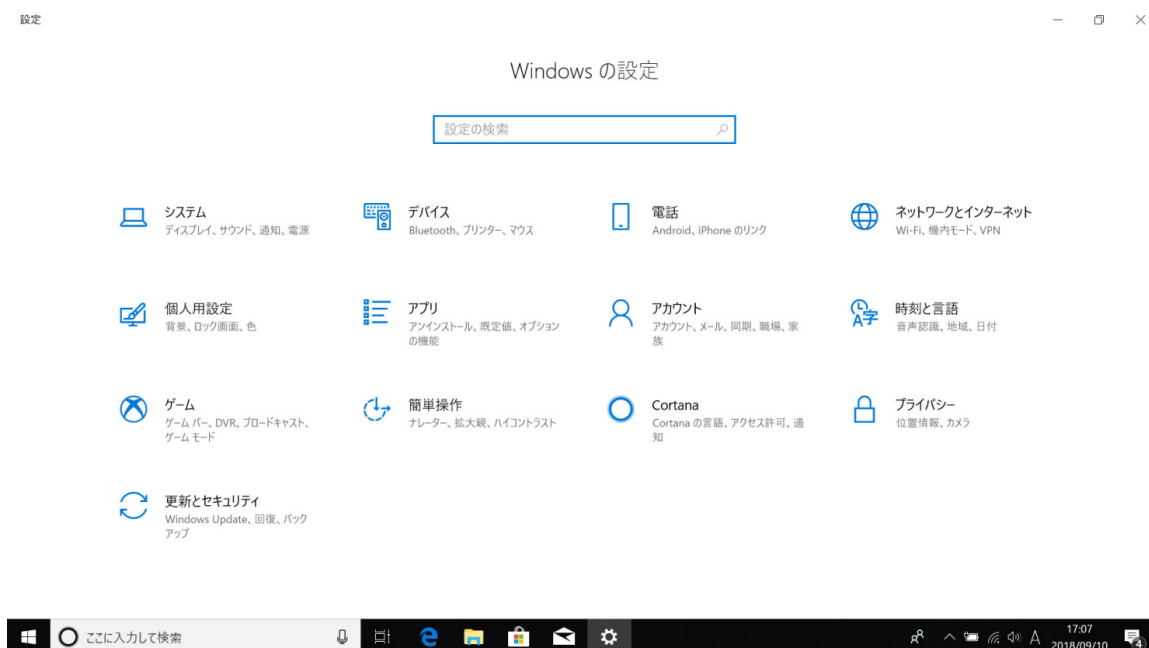
スタートメニューから[設定 ]をクリックしてください。



または、タスクバーの [アクションセンター ] をクリックしたあと [すべての設定] をクリックしてください。



すると、Windowsの設定画面が表示されます。



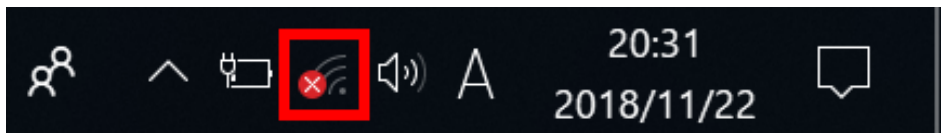
※画像はイメージです。実際の表示と異なる場合がございます。

◆使い方 ・無線LAN(Wi-Fi)の設定

※あらかじめ、ご利用のルーターの [SSID] と [暗号化キー] をご確認ください。

1. 無線LAN(Wi-Fi) をオンにする。

(ア) タスクバー右下にある無線LAN(Wi-Fi) のアイコンをクリックしてください。



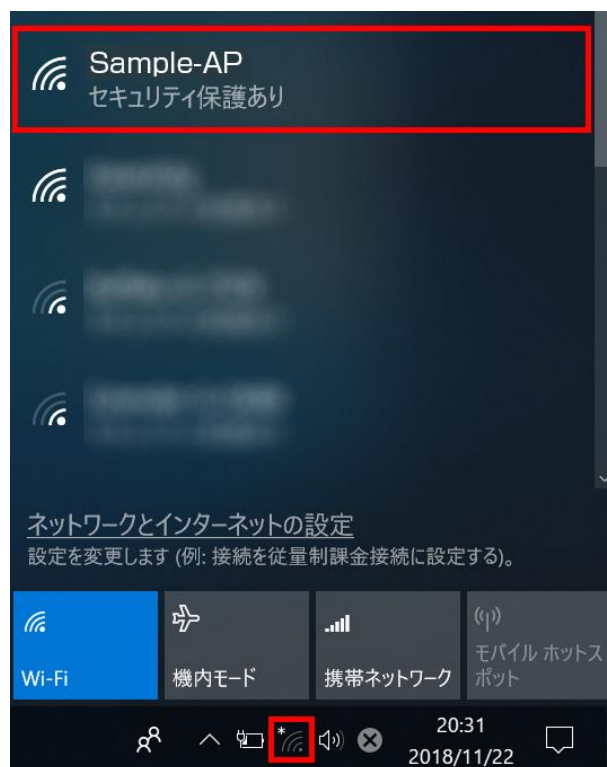
(イ) 現れたメニューから[Wi-Fi]をクリックしてください。



(ウ) 無線LAN(Wi-Fi) がオンになると、パネルが青色になり利用可能になります。

2. 次に無線LAN(Wi-Fi)の接続設定をおこないます。

(ア) タスクバーにある無線LAN(Wi-Fi)のアイコンをクリックし、表示されたネットワークの一覧から、利用する親機(無線LAN(Wi-Fi)機器)の [SSID] をクリックしてください。

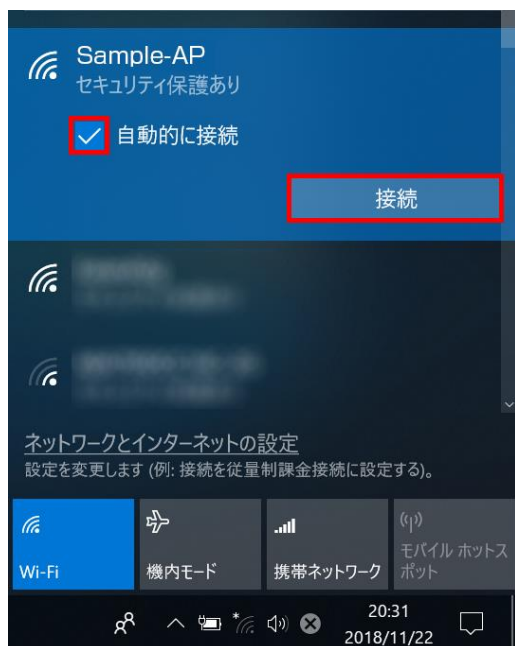


【利用する親機の〔SSID〕が表示されない場合】

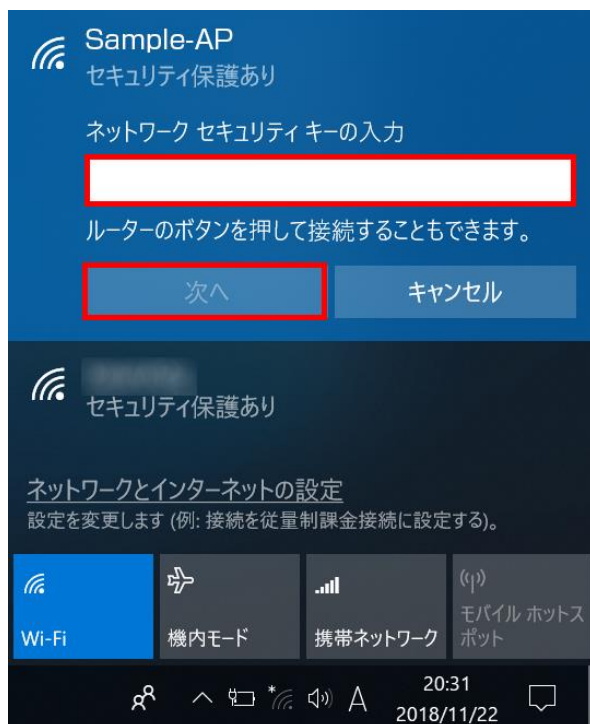
親機の無線LAN(Wi-Fi)機能が有効になっていない、親機の電波が届かない場所にいる、親機がステルスモード(〔SSID〕が自動的に検出されない状態)になっているなどが考えられます。親機の無線LAN(Wi-Fi)機能がオンになっていることをご確認いただき、電波状態の良好な場所で再度お試しください。

(イ) [接続]を選択してください。

※ 次回から、この〔SSID〕の電波を受信した際に自動的に接続するようにしたい場合は、[自動的に接続]にチェックを入れます



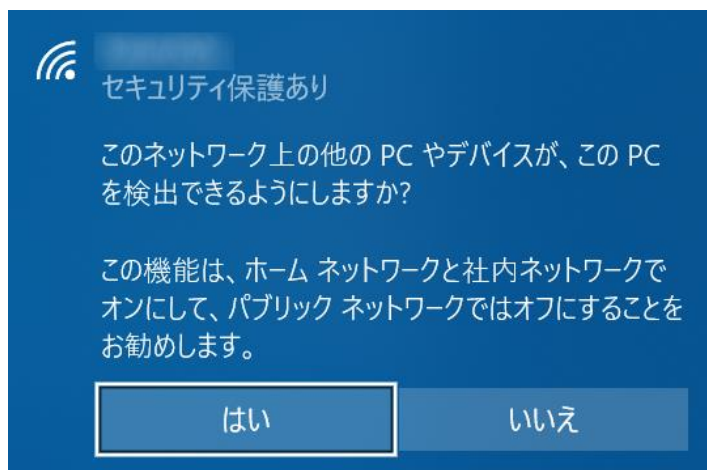
(ウ) [ネットワーク セキュリティ キーの入力]欄に〔暗号化キー〕を入力してください。入力後、[次へ]をクリックします。※セキュリティ保護のため、パスワードは(●)で表示されます。



(エ) 選択された [SSID] が接続状態になっていることを確認してください。



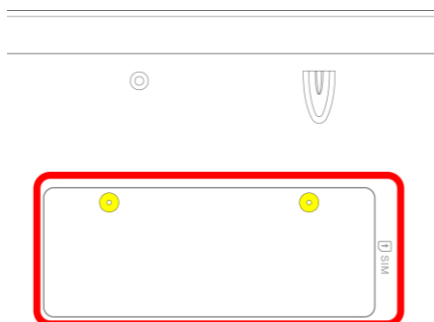
(オ) 下図のような検出設定が表示された場合は、画面の指示に従って検出設定をおこなってください。



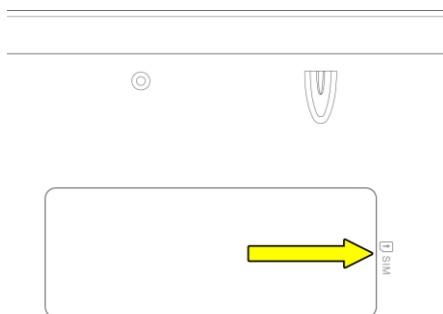
以上で無線LAN(Wi-Fi) の接続設定は完了です。

◆microSIMの挿入と接続設定方法

1. 電源を切った状態で本体裏側の下記黄色のネジを取り外した後、microSIMスロットカバーを取り外します。



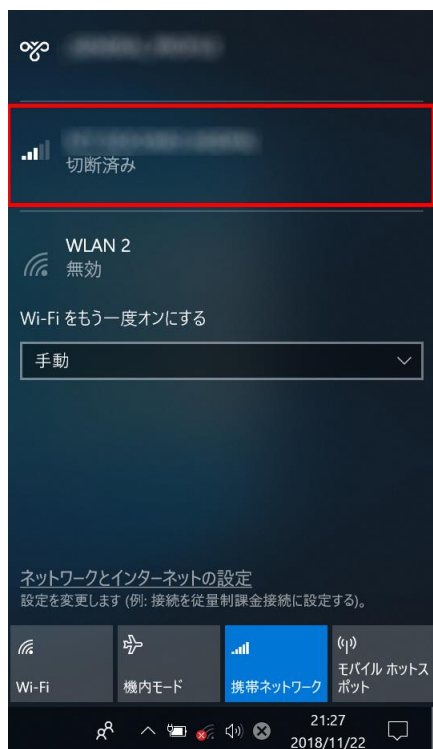
2. microSIMカードの金属面を下側にして本体のマーク()の通りにしていただき、microSIMスロットの位置を確認しながら矢印方向にカチッとロックされるまでまっすぐ挿入してください。



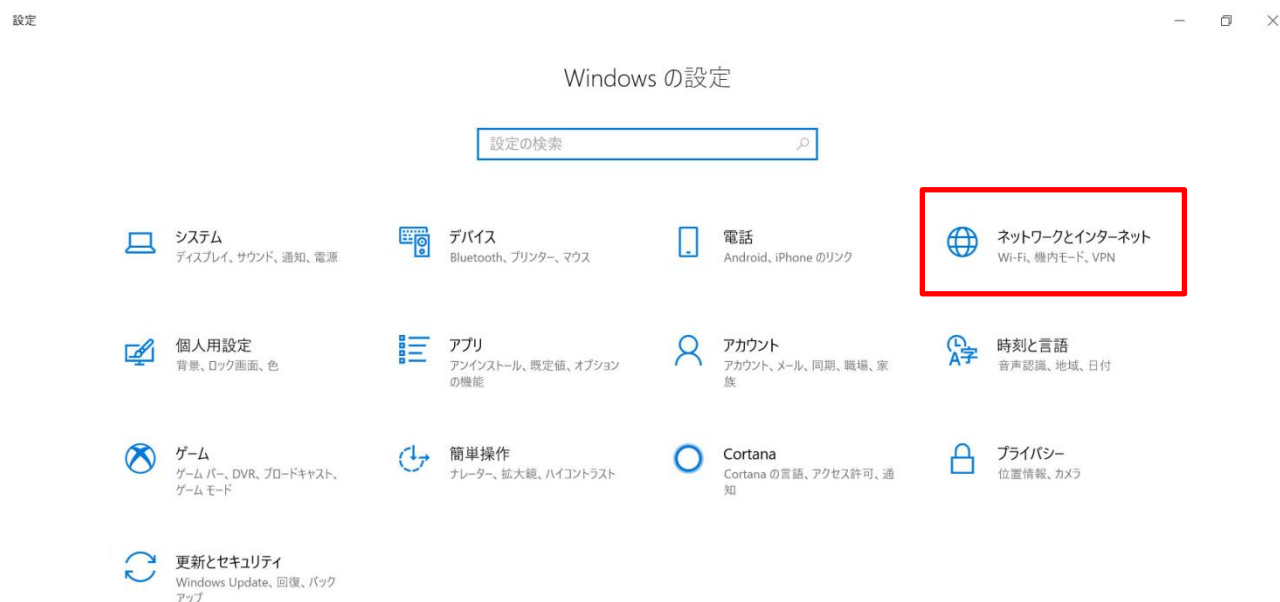
3. 挿入し終わったら、カバーを元に戻してネジを締めます。
4. パソコンを起動し、画面下部のタスクバーにあるネットワークアイコンをクリックしたあと、携帯ネットワークをオンにします。
青く点灯している状態がオンの状態です。その後、Wi-Fiをオフにします。灰色の状態であればオフの状態です。



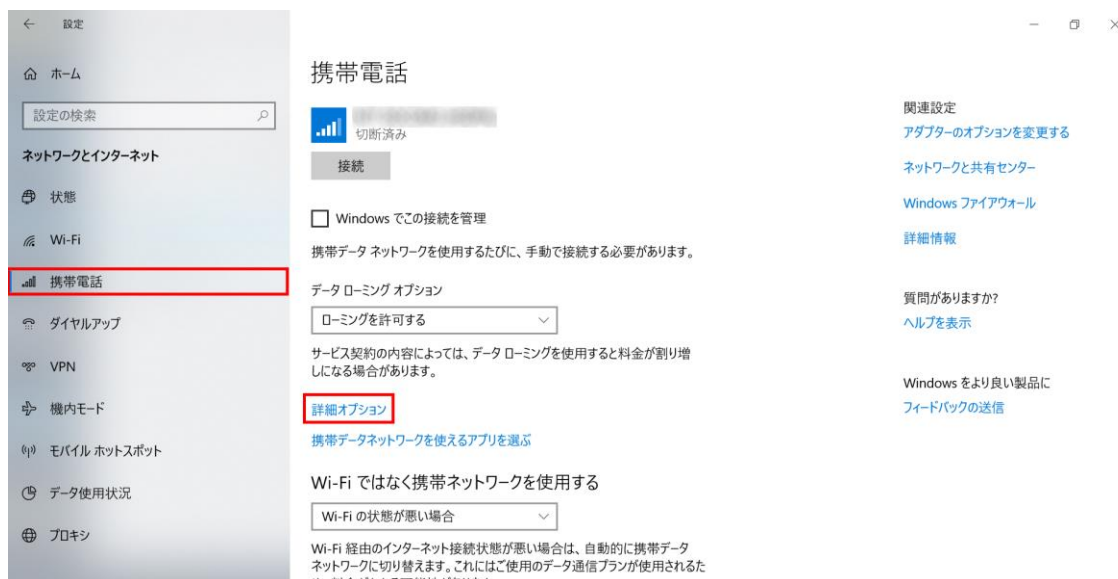
5. 挿入したmicroSIMカードが認識しているか確認します。NTT DOCOMOなどのネットワーク名が記載されていれば認識されています。



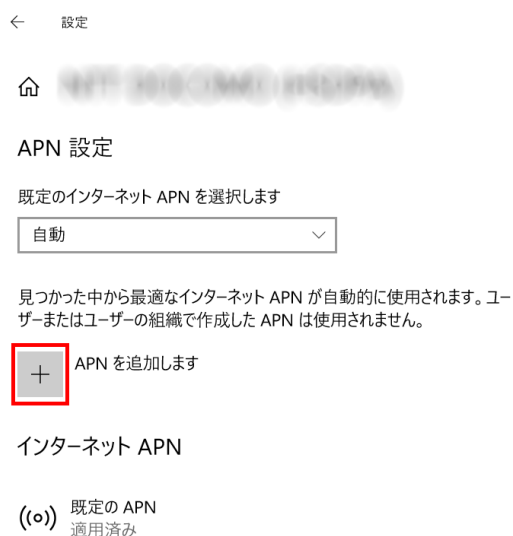
6. 次に、Windowsの設定メニュー内の[ネットワークとインターネット]をクリックし、設定メニューを開きます。



7. 左のメニューの[携帯電話]をクリックし、携帯電話設定画面を表示させます。その後画面内の[詳細オプション]をクリックします。



8. 詳細オプションの画面になったら、下にスクロールしてAPN設定の項目内の[+]ボタンをクリックします。



9. お持ちのmicroSIMの情報を入力し、[保存]をクリックします。

※必要な情報は、microSIMのご契約会社にご確認ください。

← 設定

🏠 APN

プロフィール名

APN

ユーザー名

パスワード

サインイン情報の種類

IP の種類

APN の種類

☒ このプロフィールを適用する

保存

10. APN設定の項目内に、新しいプロフィールが追加され、適用済みになっていることを確認します。

← 設定



APN 設定

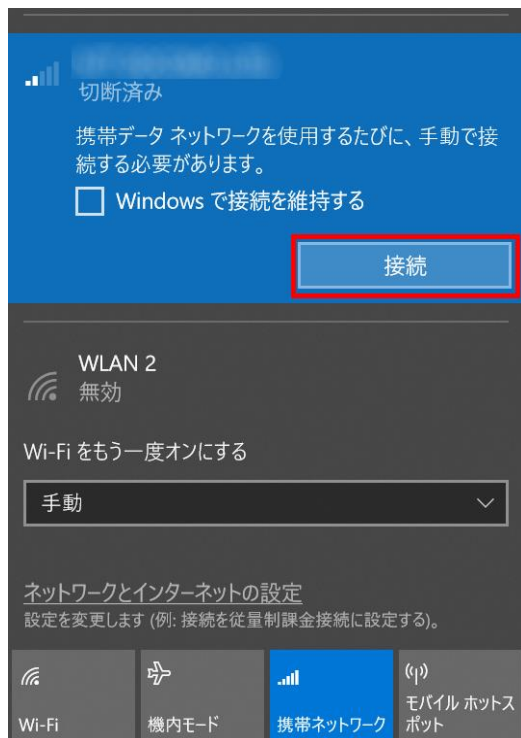
+ APN を追加します

インターネット APN

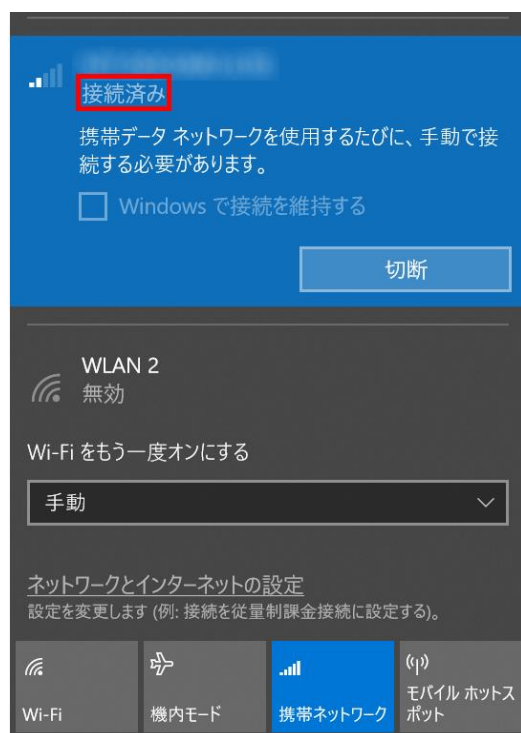
(○) 既定の APN
未適用

(○)  適用済み

11. 再度、タスクバーのネットワークアイコンをクリックしてネットワークリストを表示させた後、microSIMのネットワークをクリックすると現れる[接続]ボタンをクリックします。
- ※「Windowsで接続を維持する」にチェックを入れると、別の種類のネットワークに接続していないとき、自動的にmicroSIMカードのネットワークに接続するように設定できます。



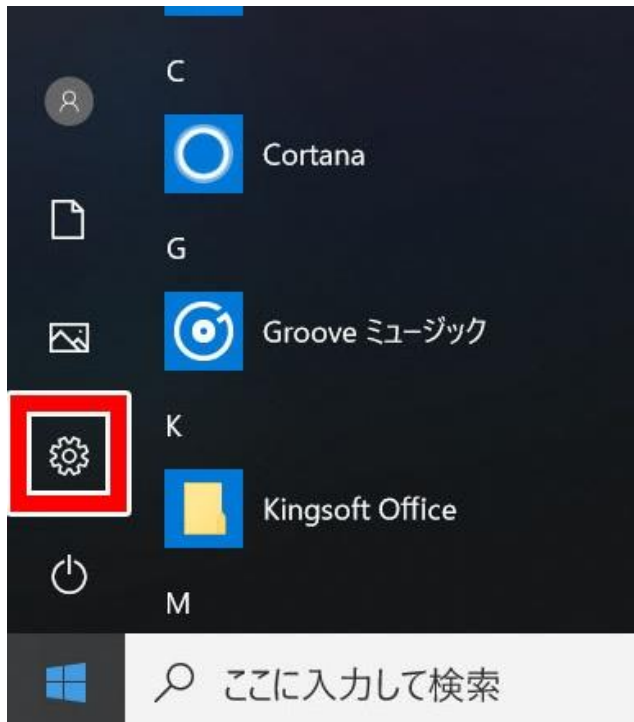
12. 表示が「接続済み」になっていれば、設定完了です。



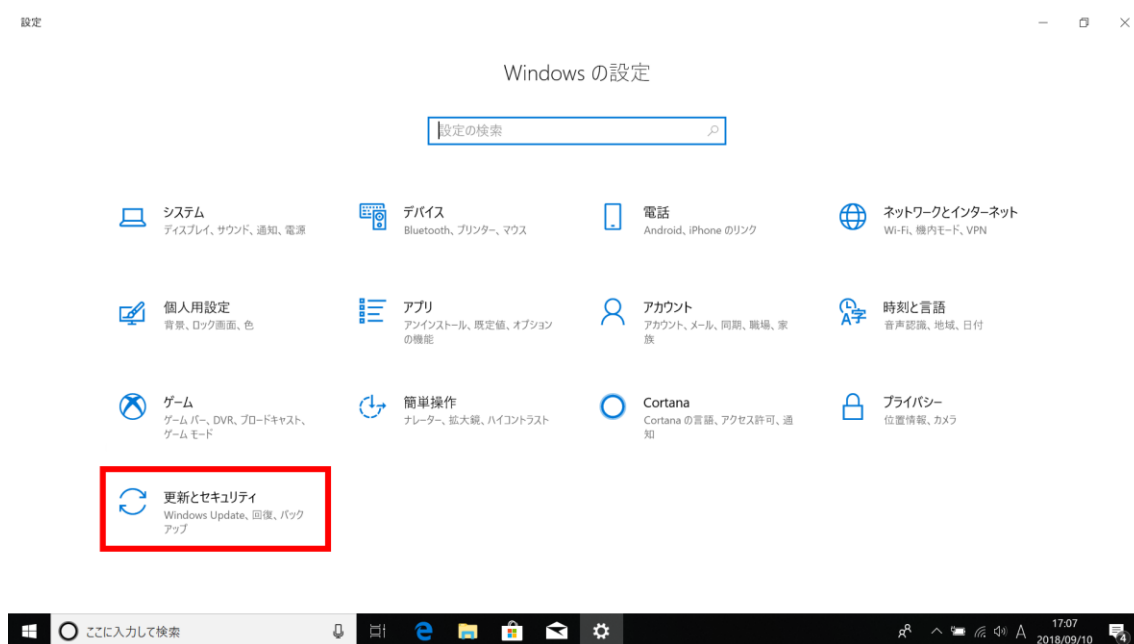
◆使い方 ・Windowsの初期化

注意：初期化をおこなう際は、故障の原因となりますので満充電状態かつ、ACアダプタを接続した状態でおこなってください。また、下記の手順以外の方法での初期化はおこなわないでください。

1. スタートメニューから[設定 ]をクリックしてください。



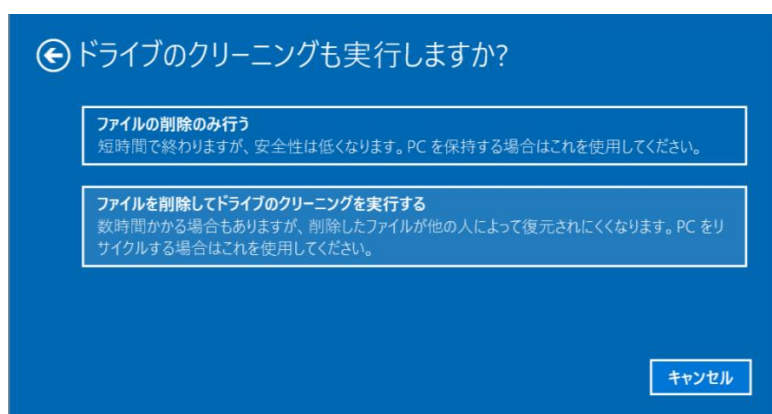
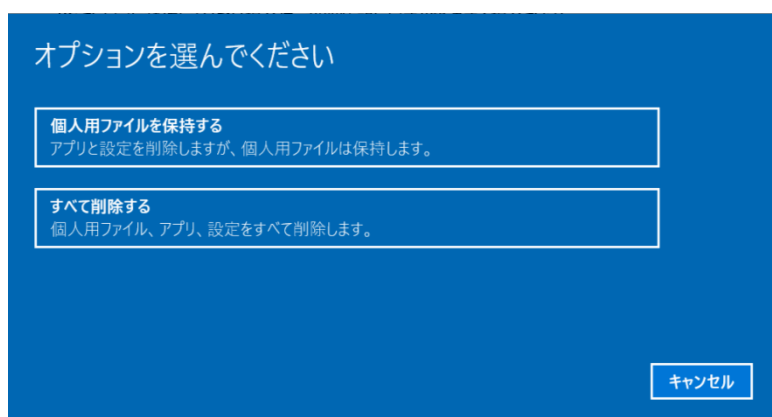
2. [更新とセキュリティ]をクリックしてください。



3. 画面左側のメニューから[回復](下図①)をクリックしたあと、画面右側に表示されるメニュー内にある「このPCを初期状態に戻す」の[開始する](下図②)をクリックしてください。



4. オプション内容をご確認のうえ、それぞれ選択して初期化を進めてください。



※本書は2018年9月時点のOSバージョンにて作成されております。OSのバージョンアップにより、表示内容が変更される場合があります。

◆FAQ(よくある質問)

1. 起動しない

- ✓ 十分に充電されているか確認してください。
過放電状態ですと、ACアダプタを挿入した状態であってもすぐには起動しない場合があります。

2. 充電ができない

- ✓ ACアダプタのケーブルが電源入力ポートに挿入されているか確認してください。
- ✓ ACアダプタのケーブルがイヤホンジャックに挿入されていないか確認してください。
- ✓ 充電中であれば、USB Type-Cポートの隣のLEDが点滅します。(フル充電状態になると消灯します。)

3. ログイン用のパスワードを忘れてしまった

- ✓ Microsoftアカウントを利用してアカウント設定している場合は、インターネットが利用できる環境で「<https://account.live.com/password/reset>」へアクセスし、パスワードのリセットをおこなってください。
※Microsoftアカウントとは、電子メールアドレスとパスワードを使用して、MicrosoftのオンラインサービスおよびWindows 10へサインインするためのアカウントです。そのため、インターネット上で個人の認証をおこないます。
- ✓ ローカルアカウントのパスワードは、お客様に管理していただくものとなります。パスワードなどを忘れてしまいお客様側でパスワードのリセットをおこなえない場合は、メーカーを含めた第三者がそれを解除することは出来ません。その場合は有償にて工場出荷時の状態にお戻ししますので、ご購入店舗へお持ち込みいただき、修理をご依頼ください。なお、画像・音楽・メール・アプリを含めた全てのデータは消失しますので、あらかじめご了承ください。

4. microSIMカードの取り付け方法および取り外し方法

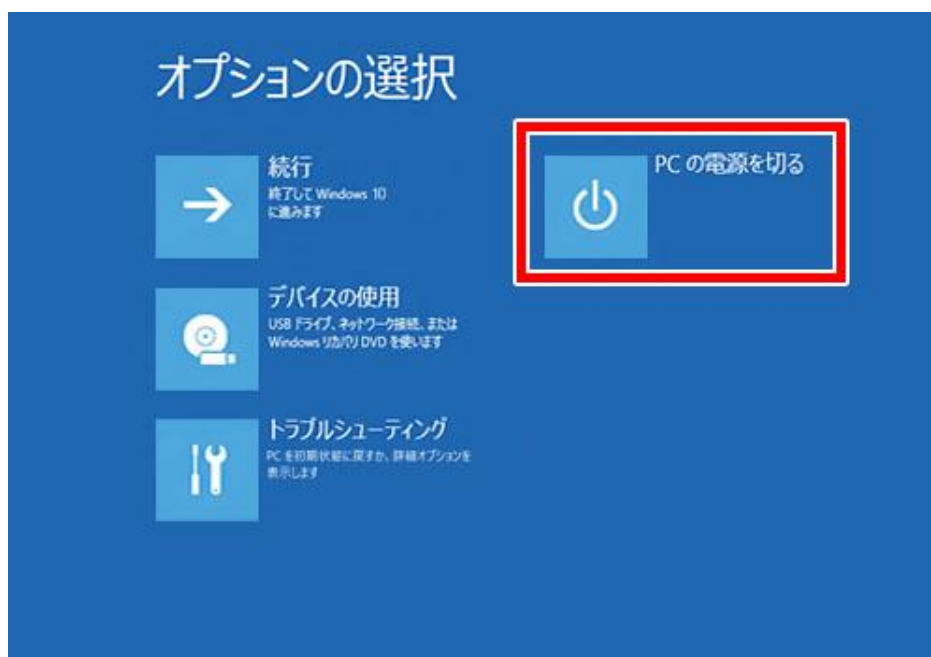
- ✓ 取り付けの際はmicroSIMカードの向きを確認し、まっすぐ挿入してください。スロットの奥まで押し込むとカチッと音がしてロックされます。
- ✓ 取り外しの際はmicroSIMカードを押し込むとロックが解除され取り外しができます。
- ✓ 指でmicroSIMカードを奥へ押し込みづらい場合は、先の細い棒状のものをご使用ください。
- ✓ microSIMカードスロットの故障につながりますので、無理に押し込んだり、向きや方向を間違えないようにしてください。

5. 突然、無線LAN(Wi-Fi)経由でインターネットに接続できなくなった

- ① スタートメニューから[電源] (下図※1)をクリックしたあと、「SHIFT」キーを押しながら、[再起動] (下図※2)をクリックしてください。



- ② しばらくすると[オプションの選択]の画面が出ますので、[PCの電源を切る]をクリックしてください。



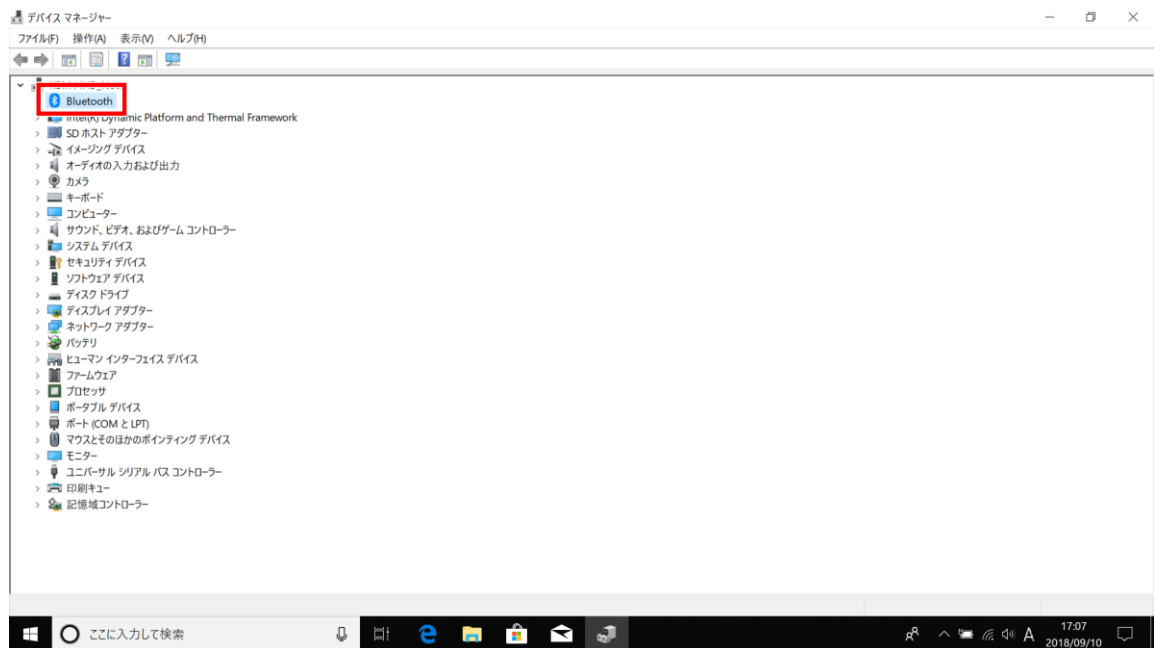
- ③ 電源が切れたあと、再度電源ボタンを押し、起動してください。
- ✓ 以上をおこなっても改善しない場合は、ご使用のルーターやモデムの再起動などをお試しください。

6. キーボード・マウスなどBluetooth機器の接続(ペアリング)が切断される

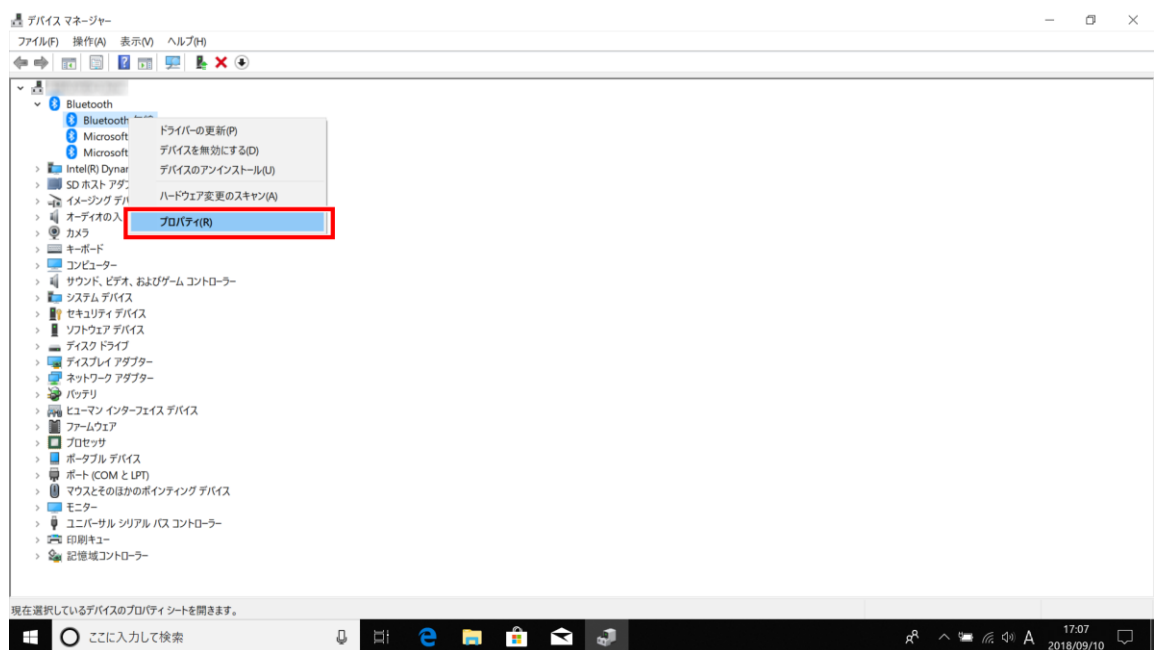
- ✓ まず初めに、接続のBluetooth機器の取扱説明書をご確認いただき、正しい手順で接続しているかご確認ください。
- ✓ 改善されないようであれば、下記の手順をお試しください。
- ① スタートメニュー(下図※1)を右クリックし、メニューを表示させたあとに[デバイスマネージャー] (下図※2)をクリックしデバイスマネージャーを起動させます。



- ② [Bluetooth]の項目をダブルクリックし、メニューを展開させてください。



- ③ メニュー内の[Bluetooth無線]にカーソルを合わせ、右クリックしたあと[プロパティ]をクリックしてください。



- ④ プロパティメニュー内の[電源の管理]タブをクリックし、[電源節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフできるようにする(A)]のチェックを外し、[OK]ボタンをクリックしてください。



- ⑤ デバイスマネージャーを閉じ、Windowsを再起動後、Bluetooth機器との接続を再度お試しください。

7. ACアダプタ接続時の使用について

- ✓ ACアダプタ接続中の本体を不安定な場所で使用したり、移動した場合、バッテリーおよび充電端子に負担が生じ故障の原因となるため、充電しながら使用する際は十分にお気を付けください。

8. 外付けのハードディスクやDVDドライブが使用できない

- ✓ USBポートに接続し使用するUSBバスパワー駆動の一部製品は電力供給不足となる場合があります。製品の仕様であり異常ではありません。
- ✓ USB接続の一部ハードディスクやDVDドライブなど、別途専用のACアダプタなどで電源供給が可能な製品がございます。※詳しくは外付けハードディスクメーカー・DVDドライブメーカーへご確認ください。

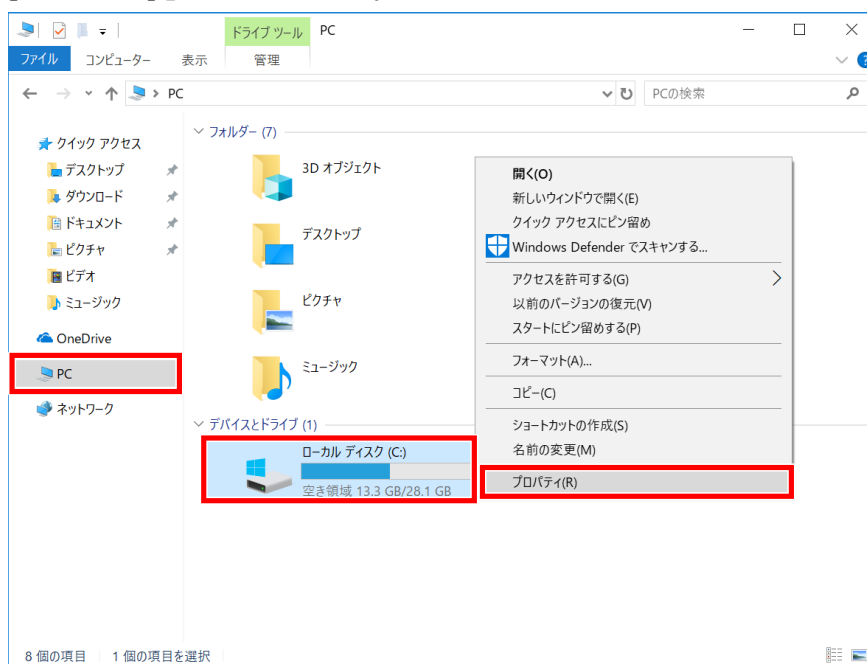
9. ストレージ容量を圧迫するWindows10の旧バージョンファイルの削除方法

※この操作を実行すると旧バージョンのファイルが削除され、PCのディスク領域を空けることができますが、旧バージョンへは戻せなくなりますのでご注意ください。また、この操作を実行しなくても一定期間が過ぎると旧バージョンのファイルは自動的にPC上から削除されます。

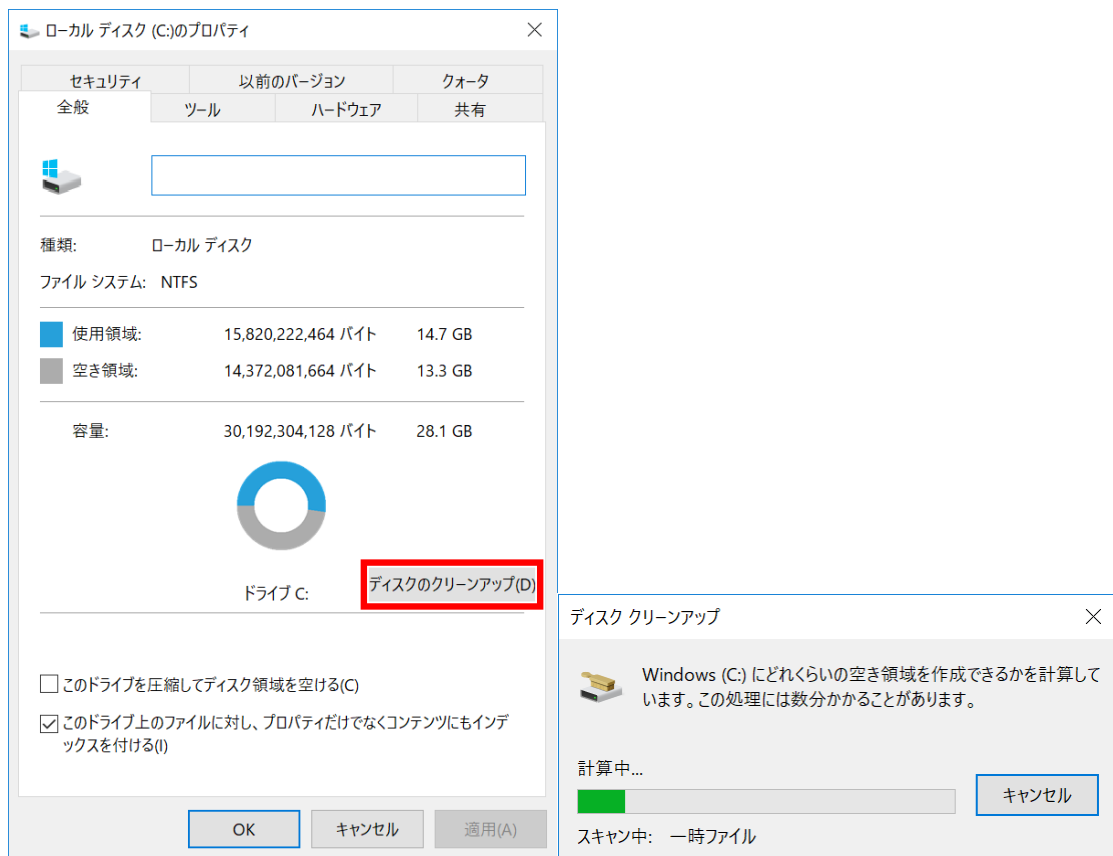
- ① タスクバーの[エクスプローラー ]をクリックし、エクスプローラーを起動してください。



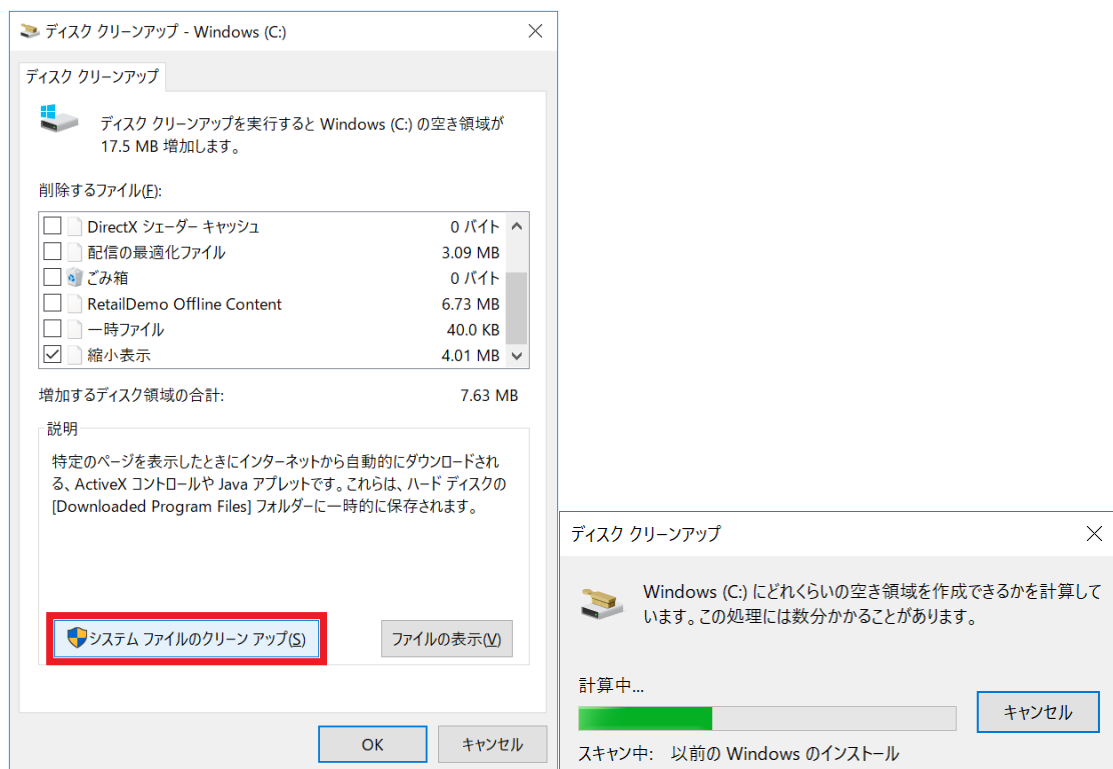
- ② エクスプローラーより[PC]を選択、Windowsがインストールされているディスクにカーソルを合わせ、右クリック後に[プロパティ]をクリックしてください。



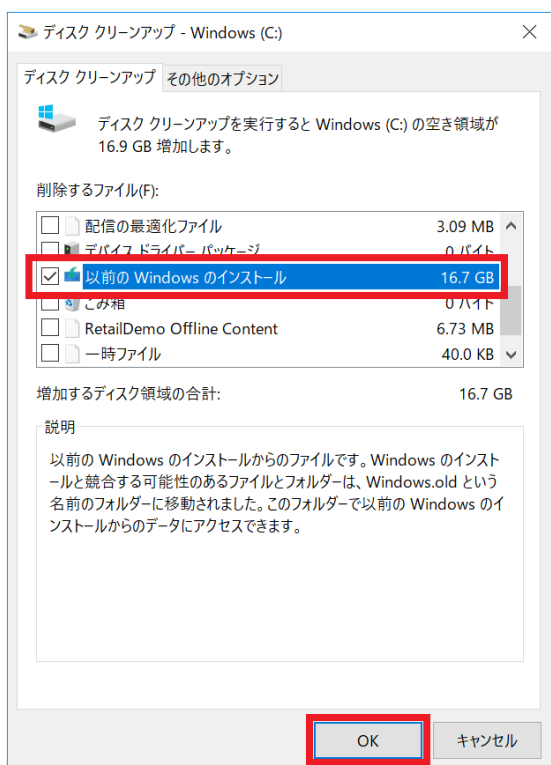
- ③ [ディスクのクリーンアップ]をクリックしてください。空き領域の計算が開始されます。



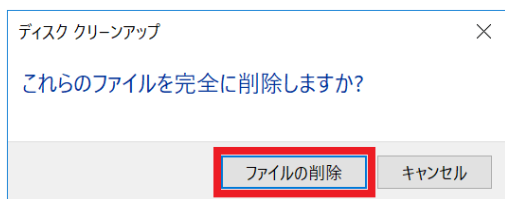
- ④ [システムファイルのクリーンアップ]をクリックしてください。空き領域の計算が開始されます。



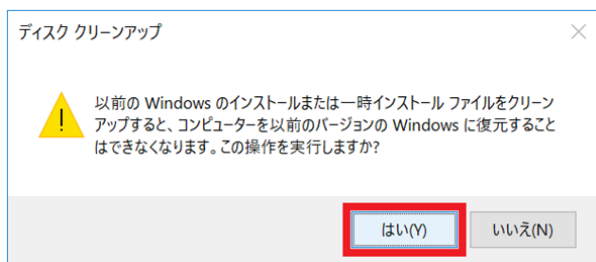
- ⑤ [以前のWindowsのインストール]のチェックボックスにチェックを入れ、[OK]をクリックしてください。



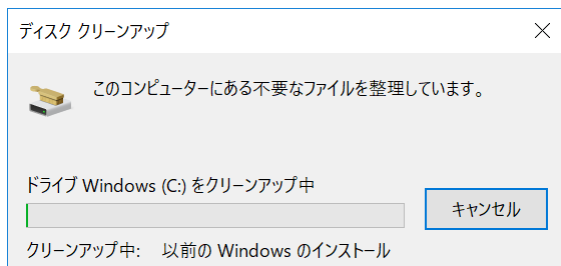
- ⑥ [ファイルの削除]をクリックしてください。



- ⑦ 内容をご確認いただき、宜しければ[はい]をクリックしてください。



- ⑧ ファイルの削除が開始されます。ウィンドウが消えれば完了です。



◆仕様

型番	KIC14LTE
JAN	4534782959677
カラー	ダークネイビー
OS	Windows 10 Pro 64bit
ディスプレイ	14 インチ IPS 1920x1080 FHD
プロセッサ	Intel® Cherry Trail-T3 Z8350
プロセッサスピード	1.44GHz/最大 1.92GHz
グラフィックス性能	Intel® HD graphics 400
システムメモリ	LPDDR3 4GB
ストレージ	eMMC 32GB
無線 LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
通信	Bluetooth® 4.0
対応通信バンド	FDD-LTE B1/B3/B5/B7/B8/B18/B19/B21 WCDMA B1/B5/B6/B8/B19
通信速度	受信時最大 150Mbps 送信時最大 50Mbps
キーボード	86 キー日本語キーボード
インターフェース	USB 3.0 x1
	USB Type-C x1
	Micro HDMI x 1 (HDMI1.4 対応)
	3.5mm オーディオジャック x 1
	microSIM カードスロット x 1 (日本国内用 SIM ロックフリー対応※1)
カメラ	インカメラ: 200 万画素
マイク	内蔵マイク
スピーカー	8Ω 1W x 2 内蔵
バッテリー	3.8V,9600mAh
サイズ	約 325.5 x 214.4 x 16.5mm (突起部除く)
重量	約 1145g(本体のみ)
取得規格	技術適合・PSE
ビジネス統合アプリ	Kingsoft WPS Office
保証期間	購入日より 1 年間
パッケージ内容	本体、充電用 AC アダプタ、保証書、取扱説明書、 WPS Office ライセンスカード

※1 SIMカードは同梱しておりません。海外での使用は保証対象外となります。